11月26日（土）に防災機能訓練実施！

風もなく小春日和の中、睦会での今年度2度目となる防災訓練が実施されました。6月の体験型訓練を個々人の防災意識向上にポイントを置いたのに対して、今回は自主防災組織の防災活動の流れを理解し、有機的に機能しているかどうかを主にして実施されました。実施状況を「白いタオル」掲示の件と、訓練のの時系列の行動記録の結果で検討してもらいました。

○ 防災機能訓練結果分析（1）
情報収集活動

	班	戸数	訪問結果留守・応答無し	訪問結果異常なし	在宅	白タオル	% （白いタオル掲示数／在宅者件数9×100	訪問	訪問結果異常なし	11時以降参加者
	1	20	0		20	20	100	18	18	1
	2	19	7	4	12	8	67	11	4	1
	3	26	2	5	24	19	79	7	5	5
	4	25	2	3	23	20	87	5	3	4
	5	24	3	0	21	21	100	0	0	3
	6	20	1	0	19	19	100	0	0	3
（訓）家屋火災1件	7	25	6	0	19	18	95	24	18	5
（訓）家屋倒壊1件	8	24	1	5	23	17	74	7	5	4
	9	24	3	3	21	18	86	6	3	2
	10	23	2	2	21	19	90	4	2	2
	11	21	3	5	18	13	72	8	5	2
	12	22	2	3	20	17	85	5	3	4
	合計	**273**	**32**	**30**	**241**	**209**	**87**	95	66	36

7班火災1件　8班倒

＜ほとんどのお宅が在宅している＞
・ 戸数（273戸）に対して在宅（241戸）の在宅率は88%となります。土曜日・高齢社会地域・他いろいろ、考えられると思いますが、9割に迫る率で在宅している地域に私達は生活していることになります。たとえ、大災害が発生したとしても、安心・安全に自然災害をやり過ごせる努力が必要になります。
＜白いタオルで意思表示！＞
・ 「白いタオル」で「**我が家は支援等は必要ないです！**」の意思表示ができたかどうかですが、100%の班が3つあり、低かった班で67%、12班全体で87%となり、**「タオルで意思表示訓練の2年目！」**にして全会員に協力いただけたと評価して良い結果だと思います。
＜まさかの時に「白いタオル」で意思表示＞
・ 一方で、**在宅していて「支援等は必要ない！」のに「タオルで意思表示しなかった！」**戸数が30戸（12%）ありました。「支援が必要なお宅と必要な支援の内容の全体像を素早く把握すること。」で**防災活動が始まり、出発点です！**自身のそして家族の身の安全を確認し、家屋・家財の被害がないことを確認できたら、そのことをお隣さまや防災組織の方に 「玄関周りにタオルを掲げる！」ことで示して頂きたいのです！
＜当番の方は、「留守なのか、いるけど応答できないのか」判らなかったけど！＞
・ 訪問結果（留守・応答無し）が32戸ありました。「応答無かった！」のは「留守」なのか、「異常事態が生じているのに、意思表示できないでいるのか！」が判らない段階です。しかし、これ以上は調べることはできません。普段から情報を交換し合える「おつきあい」が非常時に生かされるかとは、思います。この場では、「応答無かった」という情報を本部に報告していただきたいと思います。

○ 防災機能訓練結果分析（2）
時系列記録板（記録は次ページに2枚）
＜情報受付は異常事態報告を優先！＞
・ 窓口は増やさないで受付を（2人体制で）する必要がある。情報の伝達ミスを起こさないためです。12の班が情報を持って集まってくる。順番を待っている間も火が燃え広がります。倒壊家屋で助けを待っている人がいるかもしれません。優先して情報を伝えたい方から受け付けてもらいます。
＜自治防災組織の役員であることを示す**ビブスとヘルメット**＞
・ ビブスに氏名と班名（消火班など）書いて挟んで装着する。ヘルメットを被る。短時間でできるように、日頃から手順をイメージし、
＜情報班からの指示の流れをスムーズに＞
・ 本部の掲示板・被災状況確認書類（D）等と同時に本部長に伝達→本部長から書く担当班に指示→出動という流れをスムーズにしたい。
＜1月々当番に協力依頼＞
・ ビブスに氏名カードを挟んで装着してもらって、情報収集活動（プリント配布）を理解してもらった。

自主防災組織　機能訓練　＜2016／11／26＞

時系列記録板

記録/青山・松瀬・森

9時 50分 9:50 大地震発生

	10時												11時			
	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	0	5	10	15
本部長	・**本部設置宣言**(本部長) ・各班々編成指示			・防災倉庫解錠指示	・消火班出動指示(B)(トランシーバー) ・自主防災組織立ち上げ報告→被害状況本部長に報告 ・被害状況報告受領 ・救出班出動指示(C)(トランシーバー)					・避難援助活動指示(F) ・消火作業終了報告受領(B)		・救出作業終了報告受領(C) ・**一時避難所開設宣言**→各班に移動指示→運営委員会に報告		・避難援助活動完了報告受領(D)		
副本部長		・トランシーバー各班に配布/作動テスト			・一時避難場所開設準備開始(E)											
本部要員	・**本部開設準備**(事務局員)→本部長へ報告 ・各班々編成確認→本部事務局開 ・時系列行動記録(青山・松瀬)→→→→訓練終了まで				・防災倉庫解錠出動 ・一時避難場所開設準備開始(E											・物資配布
情報班	・班編成 ・**情報受付**(一次)			・本部長に防災倉庫解錠依頼 ・**情報受付**(二次) ・情報未収集班に情報確認 (他の月当番に収集依頼)				・火災現場到着時に状況受取(トランシーバー) ・倒壊現場到着時に状況受取(トランシーバー)				・一時避難所に情報受付移動			・拠点本部へ報告	
消火班	・**班編成** ・**ビブス・ヘルメット装着**		・**消火活動出動**					・現場到着時に状況報告(トランシーバー) ・消火作業終了報告(B) ・一時避難場所開設作業に合流								
救出救護班	・**班編成** ・**ビブス・ヘルメット装着**								・**救出救護活動出動** ・現場到着時に状況報告(トランシーバー) ・救出作業終了報告(C)→本部報告 ・一時避難場所開設作業に合流							
避難誘導班	・**班編成** ・**ビブス・ヘルメット装**			情報収集開始(二次)→本部に報告		・一時避難場所開設作業開始						・**避難援助活動出動(D)** ・一時避難所開設完了のアナウンス活動(出動)		・避難援助活動完了(D)→本部報告		
給食給水班	・**班編成** ・**ビブス・ヘルメット装着**＆月当番の防災ビブス・ヘルメット装着援助→班編成援助		・情報未報告班の情報収集協力			・一時避難場所開設作業開始				・机、椅子の持ち出し					・拠点本部へ報告	
月当番	・状況報告(一次) ・**ビブス・ヘルメット装着**→各々の班に合流			・**情報収集開始(二次)**{**「白いタオル」で安否確認**活動}→→報告												
(仮)避難施設運営委員会					・自主防災組織立ち上げ報告受領						・一時避難所開設報告受領				・一時避難所からの被害状況報告受領	